



さくしん

(校長室だより 19)

H 2 1 年 1 2 月 2 4 日

下氷鉦小学校

校長 大内 徹

寒波のため、この冬一番の冷え込みがやってきましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

登校日数 86 日の二学期が終わろうとしております。新型インフルエンザの猛威に悩まされた今学期でありましたが、インフルエンザ罹患児童数も数名となり、大きな波は落ち着いたようがあります。何はともあれ、終業式を全校で迎えられることを喜びたいです。11 日～18 日まで保護者懇談会がありましたが、寒い中都合をつけてご来校いただきありがとうございました。通知表もお渡し致しましたが、ご家庭ではお子様とどのような会話をされたでしょうか。とかく◎や○の数がいくつか…と成績評価の方が気になりがちですが、懇談会の中で担任の先生からお話のあったお子様の生活や行動に関わる内容を大切に扱って、お子様の今後の生活に生かしていただければ幸いです。

さて、先週は初雪が降りましたが、つい先日までは雨の多い日もありました。ある朝のことでしたが、傘をもって登校する児童を何人か見かけました。登校時の空模様からは雨が降るようには見えませんでしたので、「今日は雨が降るのかな？」などと私は声をかけていたのですが、やはり昼過ぎから雨が降り始めました。きっと親御さんが朝の天気予報から一日の天気を見通した上でお子様に傘を持たせて下さったのだらうなあと後から思いました。お子様を案じていらっしゃる家庭の愛情を感じると共に、下校時間帯が雨になるのだらうなどとは予想だにできず、天気予報すらチェックしてこなかった自分を恥じました。

その翌日も雨降りでしたが、校長会に出かけるため、三才駅から長野に向かう電車に乗る機会がありました。自宅から十数分ですが、三才駅まで傘をさして歩きました。狭い歩道を歩いていると、通り過ぎる車が路面の雨水をバシッとはねて走り去っていききました。「このや・・・！」と、紳士？の口からとは思えぬ言葉がつい出かかりました。すれ違おうとする車の横で立ち止まり、広げた傘を横に構え雨水のはねを避けようとしていたにもかかわらず、その車はスピードをゆるめることもなく平気で走っていったのでした・・・。「あーあ、ひどいもんだ…なんで朝からこんなに降るんだらう…」と思いながら、「でも待てよ、『人のふり見て吾がふり直せ』じゃないけれど、そのつもりがなくても、案外自分も気づかないところで同様のことをやっているのかもしれないぞ…。丹波島方面の国道と歩道はかなり離れているようにも思えるけれど、注意しなくてはいけないな。」と考え直しました。学校前の横断歩道付近でも雨の中を水しぶきを上げて駆け抜けていく車を時々見かけます。登下校中、他の箇所でも雨水をはねかけられて切ない思いをしている子どももいるのではないかな…と心配にもなりました。そして、車の運転時や歩行時のような場面ばかりでなく、日常の様々な場面で、いろいろな立場に自分自身の身と心を置いて、物事を見つめ考えて直してみる必要があることを改めて認識しました。

さて、'09 年も残すところ一週間のみとなりました。皆様にとってはどのような年だったでしょうか。昨年も同様なことをこの「さくしん」に記した覚えがありますが、今年も十大(重大?)ニュースについて振り返ってみました。なかなか十にならなくて困るのですが、本校の昇降口前の庭に新しい井戸と池が完成して中庭の水路(ビオトープ)に井戸からの水が流れ始めました。ドングリ山の向こうまで水が流れていきます。僅かに緩やかな傾斜がつけられていますので、井

戸からのきれいな水がゆったりと流れていきます。先週は水路にそって植栽をしていただきました。ここで私はまた、冬のこの時期が植栽には適時であることを知りました。氷点下の朝には、井戸から池に注がれる水が温泉場のように白い湯煙（？）を上げて、ザーっと池に落ちていますので、池の水に浸かって温まりたいような衝動にかられます。（それこそ珍百景になりそうですね。）水温は13℃から15℃です。20メートルもの深さの地中から澄んだきれいな水が湧き出てくることを考えただけでも感動を覚えます。温泉でも湧き出れば下氷鮑温泉なんてことになったかもしれませんね。井戸、池、水路の三つの完成だけでも十大ニュース、百大ニュースに匹敵します。ご尽力、ご協力の方々に感謝、感謝であります。

本校の校章をモチーフにした学校花壇が中央審査に進み、優良賞をいただけたことも嬉しいニュースでした。来年度の春花壇に向けての準備が着々と進められております。来春どんな花壇ができあがるか今から楽しみにして下さい。11月から12月の落葉の時期、5年生や緑化委員会の皆さんが、落ち葉を掃き集めては花壇の腐葉土用にと運んでおりました。

本校としてのビッグニュースは他にもあることでしょう。学級や家庭でも振り返って、今年の十大ニュースを考えながら丑年に別れを告げていただければ幸いです。時の流れを遡って、己の足跡や活動の経緯を振り返ることは、これから先の未来をどのように輝きあるものにするかの鍵となるのではないかと信じています。

私ごとで恐縮ですが、この一年も様々なことに挑戦・開始することができた年でした。蛍の再生事業の一環としての川蜷（かわにな）の採集もその一つです。川蜷を採集してきては水槽で飼育したり、その生態を観察したりしているうちに、今までさほどに興味や関心のなかった生物やその生態等にも興味や関心が芽生えてきました。（高校時代は電気科でしたので生物は学習しておりません）蛍の郷再生事業の副産物ではありませんが、大人の今頃になって川遊びが大好きになりました。その川や沢の流れがどこに源を発するのかなどを求めながら、地域を巡る楽しさも味わえるようになってきました。長野市内には、篠ノ井の聖川（信田小から下ってきた辺り）、松代東条の大日池の脇にある水路、豊野西小学校近くの三念沢や周辺の沢に川蜷が生息しております。12月でも休日にゴム長靴を履いて沢や川に遊びに行くのですから、変わり者と思われるかもしれません。太陽さえ出ていれば、川や沢の流れは見ているだけでも心の癒しになります。松代東条の大日池脇にある大日堂入り口から湧き出る水は「松井の泉」と呼ばれ、遠方からお茶やコーヒー用に名水を求めてくる人々もいるとのことでした。よろしかったらご家族で訪れてみてはいかがでしょうか。

このような私の川や沢巡りに拍車をかけているものにサイクリングがあります。この秋、思い切って21段変速のクロスバイクを買いました。もちろんセコです。中央道ができる前の頃でしたが、長野・松本間をマウンテンバイクで一日で往復したことがあります。その時はペダルを一回こげば、その分だけ必ず進むということを教訓として得ただけで、それ以来しばらく自転車はやっていなかったのです。各国の大統領や首相、科学者達がコペンハーゲンまではるばる行って環境会議を開いている時代です。少しでも二酸化炭素の排出量を削減するために私ができることといえば、自転車に極力乗って車利用を控えることくらいです。天気のよい休日には、自転車で神社、仏閣巡りでもしようかと考えています。T氏のような目にならないように注意は必要ですが…。さて、話は戻りますが、大人の私ですら川蜷採集をきっかけに、関心の薄かった分野に自分の好奇心が向かうようになったのですから、小学校の児童達はどんなことがきっかけとなり、興味関心の範囲が広がり、追究意欲が増し、その過程で自分の適性や能力を見いだしていくかわかりません。子ども達が真の「学び」を実現していくことができるように、様々な環境を準備してやりたいものだなあと願うばかりです。

最後になりましたが、この一年間ありがとうございました。ご家庭の皆様、よいお年をお迎えください。

